

二十歳を祝う会 あいさつ (要旨)

若さと希望に満ち溢れる二十歳を迎えた若人の皆さん、心よりお喜びとお祝いを申し上げます。おめでとうございます。また、本日まで育てこられたご家族の皆さん、恩師の先生方、地域の皆さんにもこれまでのご労苦に敬意を表すると共に重ねてお喜びを申し上げます。

さて二十歳となられた皆さん、今のお気持ちはいかがでしょうか。皆さんの目の中には、きっといろいろなものがキラキラと光輝いて見えている事と思います。その光輝くモノのひとつ、自分の夢・希望・目標に向かって精進を重ねながら近づいて行ってくれる事を願っています。思いを叶えようとする時には辛い事や苦しい事も出てこようかとは思いますが、人生に多少の困難や苦労は付きものですし、何よりも皆さんにはそれに打ち克つだけの若さ、エネルギーがあります。若さを活かしながら色々とチャレンジし、それを経験としバネとし、人生の糧として頑張ってくれる事を期待しています。

二十歳ともなると周りの目も一段と厳しいものが出てこようかと思えます。日頃の挨拶・態度・身なり・言葉使いに始まり、職場での責任、地域や社会への貢献など、色々な場面で皆さんが注目され評価されるようになります。評価される・注目されるということは、それだけ大人・社会人として期待されている事の証しでもあります。今出来る事、やるべき事を積み重ね、周りからの信頼を得て期待にも応えられる人間にもなってくれる事も期待しています。また日々やっている事や一日一日の積み重ねこそが、自らの夢や希望に繋がっているという事を忘れてはなりません。立派な建物を建てようとするれば、しっかりとした丈夫な地盤が必要です。美味しい作物を作ろうとするれば、或いは綺麗な花を咲かせようとするれば良い土が無くてはなりません。「若い時の苦労は買ってでもせよ」という言葉がありますが、今皆さんが直面する苦労や努力は必ずや皆さんの血となり、肉となり自分のものとなって帰ってきます。皆さんが向き合っている苦労や努力こそが、自らの夢や希望、目標の土台となるものであり、その苦労や困難を乗り越えて行くことが自らの人生をより充実させ豊かなものとする事は間違いない事です。そう考えれば、今まで以上に今という時を、一日一日を大切にしながらひたむきに、懸命に過ごす事が求められようかと思えます。苦しい時には友達や家族などの力も借りながら、自分の進むべき道を見失う事なく、いつも前向きな気持ちを忘れずに一步一步着実に歩みを進めていってくださることを願ってやみません。

地元の町長としてお願いをしておきます。まずは、これまで皆さんを慈しみ育てこられたご両親や家族、関係の方への感謝の気持ちを持つという事。あわせて、皆さんが生まれ育ったふるさと「ふるさと南木曾」にも思いを寄せて欲しいという事です。皆さんのふるさとは今若い力を必要としています。いつでも、どんな方法でも構いません。何かしらの力を寄せて頂けたらと思えます。ふるさとに住む事、働く事、戻ってくる事、或いは関わる事、思うことでも構いません。ふるさとはいつでも皆さんの傍らにあります。そして、いつも皆さんを応援しているふるさとがある事忘れずに頑張っていって下さい。

そんなことを心の片隅に置いて頂きながら、まずは自分の夢・希望・目標に向かって進む事、その際には今という時、一日一日を大切にひたむきに懸命に過ごす事。そのことで、回りからの期待にも応えられる人となる事。これからも皆さんが成長し、活躍される事。更には人生が花開き実り多きものとならん事を期待しながら、町からのお祝いの言葉とします。

人生はこれからが本番です。頑張っていきましょう。